

箕面船場における 文化芸術 国際交流の まちづくりシンポジウム2022

参加
無料
申込不要

YouTubeでの
ライブ配信あり

今後のまちづくりについて、
一緒に考えてみませんか？

北大阪急行線の延伸工事は、令和5年度の開業に向けて着実に進捗しています。現在、「箕面船場阪大前駅」の周辺まちづくりが進み、昨年には図書館、生涯学習センター、劇場（大・小ホール）、駐車場が一体となった複合公共施設がオープンしました。

箕面船場地区の文化芸術国際交流のまちづくりのために、産・官・学・民がどのような取り組みを進めていくのかについて、シンポジウムを開催します。

前半は平田オリザさんによる基調講演、後半は「連携」「連帯」「つながり」をキーワードに討論を行います。ぜひご参加ください！

令和
4年 **7月23日** 土

開場/11:30 開会/12:00~14:00

会場 **文化芸術劇場大ホール**

定員 **900人** (当日先着順)

YouTubeでのライブ配信あり

視聴無料

右のQRコードからアクセス
(市のホームページにつながります)



第1部 基調講演 12:00-13:00

劇作家・演出家 芸術文化観光専門職大学学長

講師 **平田オリザ**

※第2部のシンポジウムでは、アドバイザーとして登壇していただきます

第2部 シンポジウム 13:00-14:00

武蔵野大学客員教授

モデレーター **大迫弘和**

シンポジスト

大阪大学外国語学部長

竹村景子

(公財) 箕面市国際交流協会
事務局次長

岩城あすか

箕面船場まちづくり協議会
代表理事

竹綱章浩

大阪船場繊維卸商団地
協同組合専務理事

寺本正満

箕面市長

上島一彦

主催/箕面市

後援/大阪大学外国語学部・(公財) 箕面市メイプル文化財団・(公財) 箕面市国際交流協会

お問い合わせ: 箕面市役所 人権文化部 文化国際室 TEL.724・6769 FAX.724・6010

箕面船場における 文化芸能国際交流の まちづくりシンポジウム2022

PROGRAM

第1部

基調講演

12:00-13:00

テーマ「文化芸能国際交流のまちづくり」



講師 平田オリザ

劇作家・演出家。芸術文化観光専門職大学学長。劇団「青年団」主宰。江原河畔劇場 芸術総監督、こまばアゴラ劇場芸術総監督。

1962年東京生まれ。1995年『東京ノート』で第39回岸田國士戯曲賞、2019年『日本文学盛衰史』で第22回鶴屋南北戯曲賞を受賞。2011年フランス文化通信省より芸術文化勲章シュヴァリエ受勲。

演劇の手法を用いた多様性理解・コミュニケーション教育にも取り組み、各地の自治体・NPOとも連携してワークショップを実施している。2019年より豊岡市日高町に移住し、劇団の新拠点となる江原河畔劇場を設立。豊岡市芸術文化参与、豊岡演劇祭フェスティバル・ディレクターもつとめる。

※第2部のシンポジウムでは、アドバイザーとして登壇していただきます

第2部

シンポジウム

13:00-14:00

箕面市では現在、北大阪急行線の延伸に合わせた船場地区のまちづくりを進めており、令和3年7月から箕面市、大阪大学外国語学部、箕面市メイプル文化財団、箕面市国際交流協会をはじめとした関係者で構成される「箕面船場における文化芸能国際交流のまちづくりワークショップ」において、これまで7回にわたり具体的方策の検討を進め、このたび中間報告を作成しました。

シンポジウムでは、その中間報告で「共通の課題」として示された「連携」、「連帯」、「つながり」をキーワードに討論を行います。

テーマ「文化芸能国際交流の取り組み」



モデレーター

大迫弘和

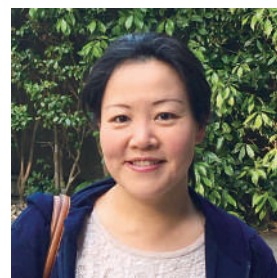
日本を代表する教育者の一人。武蔵野大学客員教授/詩人。元千里国際学園(現関西学院千里国際)中高等学校長。



シンポジスト

竹村景子

大阪大学外国語学部長。大学院人文学研究科教授。専門分野はスワヒリ語学・文学・文化論とアフリカ地域研究。



シンポジスト

岩城あすか

箕面市在住。大阪外国語大学トルコ語学科卒業。重度の身体障害者のみで構成される劇団『態変』が発行する情報誌「イマージュ」編集委員。(公財)箕面市国際交流協会事務局次長。



シンポジスト

竹綱章浩

箕面市在住。船場地域でこども主体の「こども未来会議」や廃材を利用した「クラフトワークショップ」などを企画。箕面船場まちづくり協議会代表理事。



シンポジスト

寺本正満

大阪船場繊維卸商団地協同組合専務理事。平成23年政府系金融機関より出向。その後、転籍し令和2年7月より現職。



シンポジスト

上島一彦

箕面市長